

令和3年度 学校だより



令和3年9月7日（火）

御前崎市立第一小学校

学校教育目標

花いっぱい 自分 友だち 御一小

E-mail:

9月号

[onichi@ed.city.omaezaki.shizuoka.jp](mailto:onichi@ed.city.omaezaki.shizuoka.jp)

## 『 力を合わせて「命を守る」2 学期に 』

本年度は、コロナウイルス感染拡大に伴い、市教育委員会の判断により、2 学期開始を9 月1 日に延期しました。本校でも、無事に2 学期の始業式を迎えることができました。

この夏休みは、昨年にも増して御家庭での感染防止対策を講じ、家で過ごすことが中心の休みになったのではないのでしょうか。8 月のコロナウイルスの感染状況は予想以上に厳しく、とても心配していました。私たち教職員も、2 学期からの学校生活について再度検証と検討を行い、学校でできる最大限の感染防止対策と子どもの学びを止めない教育課程の再編成と共有を行い、緊張感をもって9 月1 日を迎えました。子供たちの状況も同様でした。これは、御家庭での声掛けのお陰であると思います。ありがとうございます。

今後も学校でも、マスク着用強化、黙食の徹底、日課変更やパソコンの持ち帰り等、様々な対応を行います。これらは、保護者や地域の皆様の御理解と御協力なしにはできないことです。どうぞ、子供たちの「命を守る」ために、これからもお力をお貸してください。よろしく願いいたします。

### 🌸9 月1 日始業式校長の話より🌸

（校長 増田久美子）



今日は元気に登校してくれてありがとう。（中略）

私たち人間は、これまでもたくさんのウイルスと戦ってきました。ワクチンや治療薬の開発はもちろんのこと、医療に関わる人や、その医療を支える人、介護をする人、全ての人が力を合わせて病気を引き起こすたくさんのウイルスや細菌から命を守る努力をし、克服してきました。それは、技術だけじゃない。人々が「命を守る」ために力を合わせてきたからです。今、私たちがしている手洗いや消毒、マスクの着用や換気、密を避け、黙って食べる、黙食をみんなが守ることで、みんなの「命を守る」ことができるのです。第一小は、人数が多いからこそ、他の学校よりもっと、一人一人がルールを守って、「みんなで命を守る」ことをしていかなければなりません。体調が悪いときは、「学校を休む」ことも、自分やみんなの命を守ることにつながることがあります。

でも、これだけ努力しても、万が一感染してしまった人がいたとしたら、その人が早く良くなることをみんなで願ってあげましょう。避けたり、悪口を言ったりすることは、人として絶対にやってはいけないことです。

去年も、運動会や修学旅行、観音山自然教室、各学年の社会見学等、2 年前までには当たり前に行っていたやり方を変えなくてはなりません。今年は、去年よりさらに厳しい状況になるかもしれません。もっと内容や、やり方を変えなくてはならないかもしれない。もっともっと工夫が必要になるかもしれない。

そのために必要なことは、「アイデアと勇気と協力」です。今日からの「協力の花節」の取組にぴったりです。「限られた環境の中でも最善の努力」をし、みんなで乗り切ってきた第一小です。2 学期も、みんなで力を合わせて進んでいきましょう。皆さんの「アイデアと勇気と協力」で、たくさんの花を咲かせてくれると先生たちは信じています。